

『実践日本語教育スタンダード』を利用した 類義語リスト（形容詞編）の作成

水 上 由 美

1. はじめに

本稿の目的は、山内編（2013）『実践日本語教育スタンダード』（ひつじ書房）を利用した形容詞の類義語リストを作成することである。ただし、本稿でいう形容詞は、「楽しい」「大きい」等の他、「好き（な）」「専門（の）」「あっさり（した）」等、文中において形容詞と同じような働きを持つものを含む。

日本語学習者が日本語を使って話す時、その場にふさわしい語を考え、選ぶという作業が必要であり、そのため、類義語を使い分けるための知識は重要な学習項目の1つである。しかし、日本語教育の現場では、この類義語が文法項目のように体系的に取り上げられているとは言えない。特に実質語は数が膨大な上に、その使用には相当な個人差があることから、日本語学習者にとって有用な語彙をすべて集め、それらの中から類義語を見つけ出して使い分けを分析する作業は容易なことではない。水上（2013）では、『実践日本語教育スタンダード』を紹介するとともに、そこに収録されている語彙とその収録方法に着目することにより、日本語学習者のための動詞の類義語リストを作成した。本稿は、その続編であり、日本語学習者のための形容詞の類義語リストを作成するものである。両者を合わせてご覧いただけたら大変ありがたい。

以下、2.で『実践日本語教育スタンダード』について少し触れ、3.で『実践日本語教育スタンダード』を利用した形容詞の類義語リストを示す。

2. 『実践日本語教育スタンダード』について

『実践日本語教育スタンダード』では、日本語学習者の生活に関わる言語活動と、日本語の体系に関わる語彙や文法といった言語素材を、100の話題を設

(2)

定して分類している。提示方法は、言語活動についてはロールプレイカードという形で、そして、言語素材については構文という観点から分類した「語彙・構文表」という形でリスト化している。本章では、本稿において形容詞の類義語リストを話題ごとに作成するにあたって特に関係のある「語彙・構文表」と話題の部分について、少し触れておきたいと思う。

まず、「語彙・構文表」について述べる。「語彙・構文表」は、「名詞（具体物）の表」「名詞（抽象概念）の表」「構文（叙述）の表」「構文（修飾）の表」「その他の表」で構成されている。水上（2013）では、「構文（叙述）の表」から動詞の類義語リストを作成した。本稿では、「構文（修飾）の表」から形容詞の類義語リストを作成する。この「構文（修飾）の表」は「名詞（具体物）の表」「名詞（抽象概念）の表」に分類されている名詞を、形容詞が修飾する形で示された表になっている。具体的には、例えば、次の表1のように提示されている。

表1 2.7.5.2 パーティーの内容構文：修飾

修飾語			名詞群
A	B	C	
おしゃれ（な）、 すてき（な）	地味（な）、派手（な）、 モダン（な）、華やか（な）	安っぽい、 簡素（な）	【パーティー】【服装】 【アクセサリ等】

これは、『実践日本語教育スタンダード』の111ページにある「2.7.5.2 パーティーの内容構文：修飾」の表から一部を取り出したものである。「おしゃれ（な）」「すてき（な）」「地味（な）」「派手（な）」「モダン（な）」「華やか（な）」「安っぽい」「簡素（な）」という形容詞が、【パーティー】【服装】【アクセサリ等】という意味分類の名詞群を修飾する形で提示されている。

また、ABC という3段階のレベルが表示されているが、レベルの判別基準は、以下の(1)のような、語の「必要度」が適用されている。

(1) レベルの判別基準

A：最低限の会話が成り立つために必要なやさしい語

B：まとまった話をするために使えた方がいい語

C：話の抽象度や詳細度を高めるために必要になる語

表1では、「おしゃれ（な）」「すてき（な）」がA、「地味（な）」「派手（な）」「モダン（な）」「華やか（な）」がB、「安っぽい」「簡素（な）」がCに分類されている。確かに、最低限の会話を成立させるためには、「地味な衣装」「派手な衣装」「モダンな衣装」「華やかな衣装」や「安っぽい衣装」「簡素な衣装」

のように話せる必要はなく、「おしゃれな衣装」「すてきな衣装」と言えればよいと思われる。また、まとまった話をする時、専門的な話題でなければ、「地味な衣装」「派手な衣装」「モダンな衣装」「華やかな衣装」のように話せれば、とりあえず困ることはないであろう。そして、「安っぽい衣装」「簡素な衣装」のように話すと、抽象度や詳細度が高まると思われる。

この「構文（修飾）の表」の特徴は、例えば表1では、パーティーという話題において、【パーティー】等の名詞群を修飾するのに有用な幾つかのパラダイグマティックに対立している形容詞が一目でわかるように提示されていることである。この提示方法は、語のレベルを判別しやすくしていることに加えて、本稿で類義語のリストを作る際にも、類義語を見つけ出しやすくしていると思われる。

さらに、例えば「自然」という語は、話題によって「自然（な）」の場合と「自然（の）」の場合があり、提示のされ方が異なっている。以下の表2は、「5.2 絵画」という話題の言語活動を支えるものの1つとして、『実践日本語教育スタンダード』の246ページにある「5.2.6.2 作品構文：修飾」の表の一部であり、表3は、「11.6 エネルギー」という話題の言語活動を支えるものの1つとして、『実践日本語教育スタンダード』の382ページにある「11.6.3.2 環境対策構文：修飾」の表の一部である。

表2 5.2.6.2 作品構文：修飾

修飾語			名詞群
A	B	C	
	ナチュラル(な)、自然(な)		【絵】【絵のモチーフ】

表3 11.6.3.2 環境対策構文：修飾

修飾語			名詞群
A	B	C	
	天然(の)、自然(の)		【エネルギー】【資源】

表2の絵画という話題の中では「自然（な）」が提示され、表3のエネルギーという話題の中では「自然（の）」が提示されている。つまり、絵画の話題の中では「自然な印象」のように使用され、エネルギーの話題の中では「自然のエネルギー」のように使用されるということを示している。名詞と連体修飾語のコロケーションも見られるようになっているのである。

次に、話題についてであるが、『実践日本語教育スタンダード』の5～6ペー

(4)

ジに、次のような表4～表7で示されている。4領域、16分野に分類された話題が100設定されている。

表4 「生活」領域の分野と話題（4分野40話題）

分野	話題
1. 文化	1.1 食、1.2 酒、1.3 衣、1.4 旅行、1.5 スポーツ、1.6 住、1.7 言葉、1.8 文芸・出版、1.9 季節・行事、1.10 文化一般
2. 人生・生活	2.1 町、2.2 ふるさと、2.3 交通、2.4 日常生活、2.5 家電・機械、2.6 家事、2.7 パーティー、2.8 引越し、2.9 手続き、2.10 恋愛、2.11 結婚、2.12 出産・育児、2.13 思い出、2.14 夢・目標、2.15 悩み、2.16 死
3. 人間関係	3.1 家族、3.2 友達、3.3 性格、3.4 感情、3.5 容姿、3.6 人づきあい、3.7 喧嘩・トラブル、3.8 マナー・習慣
4. 学校・勉強	4.1 学校（小中高）、4.2 学校（大学）、4.3 成績、4.4 試験、4.5 習い事、4.6 調査・研究

表5 「人文」領域の分野と話題（3分野16話題）

分野	話題
5. 芸術・趣味	5.1 音楽、5.2 絵画、5.3 工芸、5.4 写真、5.5 映画・演劇、5.6 芸道、5.7 芸術一般、5.8 趣味、5.9 コレクション、5.10 日曜大工、5.11 手芸、5.12 ギャンブル、5.13 遊び・ゲーム
6. 宗教・祭り	6.1 宗教、6.2 祭り
7. 歴史	7.1 歴史

表6 「社会」領域の分野と話題（6分野31話題）

分野	話題
8. メディア	8.1 メディア、8.2 芸能界
9. 通信・コンピュータ	9.1 通信、9.2 コンピュータ
10. 経済・消費	10.1 買い物・家計、10.2 労働、10.3 就職活動、10.4 ビジネス、10.5 株、10.6 経済・財政・金融、10.7 国際経済・金融、10.8 税
11. 産業	11.1 工業一般、11.2 自動車産業、11.3 重工業、11.4 軽工業・機械工業、11.5 建設・土木、11.6 エネルギー、11.7 農林業、11.8 水産業
12. 社会	12.1 事件・事故、12.2 差別、12.3 少子高齢化、12.4 社会保障・福祉
13. 政治	13.1 政治、13.2 法律、13.3 社会運動、13.4 選挙、13.5 外交、13.6 戦争、13.7 会議

表7 「自然」領域の分野と話題（3分野 13話題）

分野	話題
14. ヒト・生き物	14.1 人体、14.2 医療、14.3 美容・健康、14.4 動物、14.5 植物
15. 自然	15.1 気象、15.2 自然・地勢、15.3 災害、15.4 環境問題、15.5 宇宙
16. サイエンス	16.1 算数・数学、16.2 サイエンス、16.3 テクノロジー

3. 『実践日本語教育スタンダード』を利用した形容詞の類義語リスト

本章では、まず、3-1. で類義語をリスト化する動機について述べ、3-2. で類義語をリスト化するにあたって『実践日本語教育スタンダード』を利用する理由について述べる。続いて、3-3. で類義語の選び方について述べ、3-4. で類義語をリスト化する時の記載方法について述べる。そして、3-5. で類義語リストを示す。

3-1. 類義語をリスト化する動機

この節では、なぜ類義語をリスト化しようと考えたかについて述べたいと思う。類義語を使い分けるための知識は、日本語学習者にとって重要なものの1つである。しかし、日本語学習者が使い分けに困ると思われる類義語を網羅しまとめたものは、管見の限り見られない。では、どのようにすれば、日本語学習者にとって有用な語をすべて収集し、それらの中から類義語を見つけ出して使い分けを分析する作業ができるのであろうか。

山内（2013）では、実質語の類似表現研究が日本語学者の研究対象にはなりにくいことと、日本語教師の仕事が学習者の誤用例を介して類似表現と大に関わっていることを挙げ、「すべての日本語教師が実質語の類似表現研究を行なうべきである」（p.8）とし、そのための具体的な方法を提案している。本稿では、日本語学習者にとって有用な語彙や学習者の誤用を先取りするような類義語を、どのように収集するかという課題に対する1つの試みとして、『実践日本語教育スタンダード』に収録されている語彙とその収録方法に着目し、水上（2013）で作成した動詞の類義語リストに続き、形容詞の類義語リストを作成することにした。

(6)

3-2. 『実践日本語教育スタンダード』を利用する理由

この節では、『実践日本語教育スタンダード』を利用する理由について述べたいと思う。『実践日本語教育スタンダード』に収録されている語彙は、『日本語能力試験出題基準〔改訂版〕』の「語彙」に収録されているものに加え、「現代日本語書き言葉均衡コーパス（2009年度領域内公開版）（BCCWJ）」から統計的手法により抽出されたものである。このことから、とりあえずはこれらの語彙が日本語教育の現場で必要とされているものであろうと考えた。さらに、これらの語彙は話題ごとに分類されているので、現場で活用しやすく、学習者にとっても有用だと思われる。そして、パラダイグマティックな関係にある形容詞語彙が、一目でわかるように「構文（修飾）の表」の中に提示されているので、学習者の誤用を先取りするような類義語を見つけ出しやすいと考えた。また、レベルが表示されているので、学習者がどの段階でそれらの類義語の使い分けに困るかが予測でき、類義語を体系的に取り上げるということにつながるとと思われる。

3-3. 類義語の選び方

この節では、『実践日本語教育スタンダード』をどのように利用し、類義語を選んだかについて述べたいと思う。例えば、「1.10 文化一般」という話題の言語活動を支えるものの1つとして、『実践日本語教育スタンダード』の77ページに、次のような「1.10.3.2 異文化交流構文：修飾」の表が提示されている。

表 8 1.10.3.2 異文化交流構文：修飾

修飾語			名詞群
A	B	C	
いろいろ（な）	さまざま（な）	多様（な）	【文化】
違う	異なる、ユニーク（な）	独自（の）、特有（の） ¹⁾ 、固有（の）	

この表の中には、「いろいろ（な）」「さまざま（な）」「多様（な）」や「違う」「異なる」「ユニーク（な）」「独自（の）」「特有（の）」「固有（の）」が、【文化】という意味分類で括られている名詞「文化」「風俗」「慣習」等を修飾する語として、それぞれパラダイグマティックに対立する形で提示され、レベル別に分類されている。これらパラダイグマティックな関係にある複数の形容詞を眺めながら、また、日本語学習者にとって使い分けに困るだろう語ということも念

頭に置きながら、意味が似ていると思われる形容詞がないかどうか1つ1つ見ていき、それらを類義語として話題ごとにリスト化していった。具体的には、上の表8においてパラディグマティックな関係にある「いろいろ(な)」「さまざま(な)」、「多様(な)」を眺め、例えば「世界には(いろいろな/さまざまな/多様な)風俗や風習がある。」のように使われ、「種類がたくさんある」という点で意味が似ていると思われるこれらを、類義語としてリストに加えた。次にパラディグマティックな関係にある「違う」「異なる」「ユニーク(な)」「独自の(の)」「特有(の)」「固有(の)」を眺める。これらの場合は、例えば「世界には多くの国があり、それぞれの国は(違う/異なる/ユニークな/独自の/特有の/固有の)文化を持っている。」のように使うことができると思う。しかし、「その土地土地で(違う/異なる)慣習が残っている。」とは言えるが、「その土地土地で(?²⁾ユニークな/?独自の/?特有の/?固有の)慣習が残っている。」とは言いにくいと思われる。また、「その国の(ユニークな/独自の/特有の/固有の)文化を大切にする。」とは言えるが、「その国の(?違う/?異なる)文化を大切にする。」とは言いにくいと思われる。そこで、「同じではない」という点で意味が似ていると考えた「違う」と「異なる」を類義語としてリストに加え、「他にはない」という点で意味が似ていると考えた「ユニーク(な)」「独自の(の)」「特有(の)」「固有(の)」を類義語としてリストに加えた。このような作業を繰り返し、リストを作成していった。

なお、『実践日本語教育スタンダード』の「構文(修飾)の表」には、ある1つの語が複数の話題の中に重複して分類されている場合があるが、本稿ではそれらをすべて拾うこととしたので、同じ類義語が複数の話題の中に重複して記載されていることがある。

3-4. 類義語をリスト化する時の記載方法

この節では、類義語をリスト化する時にどのように記載したかについて述べる。前節の表8を再度ご覧いただきたい。『実践日本語教育スタンダード』の「構文(修飾)の表」の中の語には、ABCのレベルが付けられているが、例えば表8では、「いろいろ(な)」「違う」はレベルA、「さまざま(な)」「異なる」「ユニーク(な)」はレベルB、「多様(な)」「独自の(の)」「特有(の)」「固有(の)」はレベルCとされている。

本稿では、類義語をリストに記載する際、語のレベルがAまたはCの場合、語の後ろにAまたはCと記すこととし、Bの場合は、数が多くわずらわしくなるため、語の後ろに何も記さないこととした。つまり、以下の(2)～(4)

(8)

のように記載したということである。

(2) 「いろいろ (な) A」「さまざま (な)」、「多様 (な) C」

(3) 「違う A」「異なる」

(4) 「ユニーク (な)」「独自 (の) C」「特有 (の) C」「固有 (の) C」

3-5. 類義語リスト

以下、話題ごとに、形容詞の類義語リストを示す。なお、話題は「1.1 食」や「1.2 酒」のように、『実践日本語教育スタンダード』の中で使用されている番号をそのまま付してある。

1.1 食		
「おいしい A」「旨い」	「甘い A」「甘口 (の)」	「あっさり (した)」「さっぱり (した)」
「苦い A」「渋い」	「家庭 (の)」「母 (の)」「おふくろ (の) C」	「伝統 (の)」「民族 (の)」
「嫌い (な) A」「苦手 (な)」	「たくさん (の) A」「多い A」「たっぷり (の)」	「少ない A」「少々 (の)」
「有名 (な) A」「名高い C」	「安心 (な)」「安全 (な)」	「珍しい A」「貴重 (な)」
「心配 (な) A」「不安 (な)」	「新鮮 (な)」「生 (の)」	「高級 (な)」「贅沢 (な)」「上等 (な)」
「格別 (な) C」「究極 (の) C」	「塊 (の)」「丸ごと (の) C」	「粉 (の)」「粉末 (の) C」
「上手 (な) A」「うまい A」「得意 (な)」	「高い A」「高級 (な)」「贅沢 (な)」「上等 (な)」	「人気 (の) A」「流行 (の)」「ブーム (の)」
1.2 酒		
「おいしい A」「うまい」	「甘い A」「甘口 (の)」	「軽い A」「あっさり (した)」「さっぱり (した)」
「有名 (な) A」「名高い C」	「珍しい A」「貴重 (な)」	「高級 (な)」「贅沢 (な)」「上等 (な)」
「格別 (な) C」「究極 (の) C」		
1.3 衣		
「小さい A」「窮屈 (な)」	「大きい A」「緩い」「だぶだぶ (び)」「ぶかぶか」	「ちょうど A」「ぴったり (の) A」
「簡単 (な) A」「楽 (な)」	「大変 (な) A」「面倒 (な)」	「きれい (な) A」「美しい」
「おしゃれ (な) A」「すてき (な) A」「モダン (な)」「エレガント (な) C」「シック (な) C」	「さわやか (な)」「若々しい」「ヤング (な) C」	「地味 (な)」「シンプル (な)」「簡素 (な) C」

「派手(な)」「華やか(な)」「鮮やか(な)」	「汚い A」「みすぼらしい C」	「人気(の) A」「流行(の)」「ブーム(の)」
「黒い A」「真っ黒(な)」	「白い A」「真っ白い」	「赤い A」「真っ赤(な)」
「青い A」「真っ青(な)」「紺(の)」「ブルー(の)」「藍(の) C」	「茶色い A」「茶(の)」「焦げ茶(の)」	「灰色(の)」「グレー(の)」
「嫌い(な) A」「苦手(な)」		
1.4 旅行		
「楽しい A」「面白い A」「愉快な」	「不安(な)」「心細い」	「きれい(な) A」「美しい」
「危ない A」「危険(な)」	「柔らかい」「滑らか(な) C」	「高い A」「高級(な)」「贅沢(な)」「上等(な)」
1.5 スポーツ		
「速い A」「すばやい」	「遅い A」「ゆっくりとした」	「難しい A」「複雑(な)」
「基本(の)」「基礎(の) C」	「素晴らしい A」「最高(の)」	「賑やか(な) A」「華やか(な)」
1.6 住		
「新しい A」「築年数が浅い」	「広い A」「広々(とした) C」	「快適(な)」「心地良い C」
「丈夫(な)」「頑丈(な) C」	「きれい(な) A」「美しい」	「おしゃれ(な) A」「すてき(な) A」「モダン(な)」
「派手(な)」「華やか(な)」	「シンプル(な)」「簡素(な) C」	「西洋(の)」「洋風(の)」「欧米(の) C」
「和風(の)」「伝統(の)」	「激しい」「ひどい」	「しっかり(した)」「嚴重(な) C」
1.7 言葉		
「簡単(な) A」「易しい A」	「失礼(な)」「ぞんざい(な) C」「無礼(な) C」	
1.8 文芸・出版		
「楽しい A」「面白い A」「愉快(な)」	「ばからしい」「ばかばかしい」	「高尚(な) C」「学術的(な) C」
「有名(な) A」「著名(な)」	「多い A」「たくさん(の) A」	「珍しい A」「貴重(な)」
1.9 季節・行事		
「伝統(の)」「固有(の) C」	「違う A」「異なる」	「ユニーク(な)」「独自(の) C」「特有(の) C」「固有(の) C」
「さわやか(な)」「すがすがしい C」	「厳しい」「猛烈(な) C」	

1. 10 文化一般		
「伝統 (の)」「固有 (の) C」	「いろいろ (な) A」「さまざま (な)」「多様 (な) C」	「違う A」「異なる」
「ユニーク (な)」「独自 (の) C」「特有 (の) C」「固有 (の) C」		
2. 1 町		
「きれい (な) A」「美しい」	「うるさい A」「騒々しい」「やかましい C」	「温暖 (な)」「穏やか (な)」
「遠い A」「遠く (の) A」	「近い A」「近く (の) A」	「公共 (の)」「公 (の) C」
2. 2 ふるさと		
「懐かしい」「恋しい」	「悲しい A」「残念 (な) A」「切ない」	
2. 3 交通		
「遅い A」「ゆっくり (な) A」「のろい C」	「危ない A」「危険 (な)」	「荒い」「荒っぽい」
「丁寧 (な)」「慎重 (な)」	「狭い A」「細い A」	「怖い A」「危険 (な)」「恐ろしい」
「うるさい A」「騒々しい」	「汚い A」「臭い」	
2. 4 日常生活		
なし。		
2. 5 家電・機械		
「簡単 (な) A」「楽 (な)」	「大変 (な) A」「面倒 (な)」	「高い A」「高価 (な)」
2. 6 家事		
「きれい (な) A」「びかびか (の) C」	「汚い A」「不潔 (な) C」	「嫌い (な) A」「苦手 (な)」
「頑固 (な) C」「しつこい C」	「大事 (な) A」「大切 (な) A」	「大変 (な) A」「きつい」
2. 7 パーティー		
「たくさん (の) A」「大勢 (の)」	「おしゃれ (な) A」「すてき (な) A」「モダン (な)」	「地味 (な)」「簡素 (な) C」
「派手 (な)」「華やか (な)」	「楽しい A」「面白い A」「愉快 (な)」	「つまらない」「月並み (な) C」
2. 8 引越し		
「新しい A」「(築年数が浅い)」	「広い A」「広々 (とした) C」	「大変 (な) A」「きつい」
「プロ (の) A」「専門 (の)」		
2. 9 手続き		
「大変 (な) A」「面倒くさい」	「簡単 (な) A」「簡潔 (な) A」「たやすい C」	「親切 (な) A」「丁寧 (な)」

「早い A」「余裕がある C」		
2. 10 恋愛		
「積極的 (な)」「大胆 (な)」「ストレート (な)」	「突然 (の)」「思いがけない C」	「好き (な) A」「大好き (な) A」
「うれしい A」「楽しい A」	「純粹 (な)」「純情 (な) C」	「悲しい A」「切ない」
「わがまま (な)」「勝手 (な)」	「苦手 (な) A」「嫌い (な) A」	
2. 11 結婚		
「突然 (の)」「偶然 (の)」	「積極的 (な)」「大胆 (な)」「ストレート (な)」	「感激 (の)」「感無量 (な) C」
「うれしい A」「楽しい A」	「けがらわしい C」「不潔 (な) C」	
2. 12 出産・育児		
「大変 (な) A」「きつい」	「心配 (な) A」「不安 (な)」	「感激 [の] ³⁾ 」「感無量 (な) C」
「優しい」「甘い」	「かわいい A」「かわいらしい」	「うるさい A」「賑やか (な) A」「騒々しい」
「楽しい A」「面白い A」「愉快 (な)」		
2. 13 思い出		
「はっきり (とした)」「鮮やか (な)」	「ぼんやり (とした)」「あいまい (な)」	「微か (な)」「わずか (な)」
「楽しい A」「うれしい A」	「悲しい A」「切ない」	「苦い」「辛い <ツライ>」
「初めて (の) A」「最初 (の) A」「初 (の)」		
2. 14 夢・目標		
「難しい A」「困難 (な)」		
2. 15 悩み		
「苦しい」「苦い」「辛い <ツライ>」「たまらない」	「寂しい A」「悲しい A」「哀れ (な) C」「空しい C」	「大変 (な) A」「厄介 (な) C」
「うるさい A」「面倒くさい」「迷惑 (な)」		
2. 16 死		
「悲しい A」「寂しい A」「苦しい」「たまらない」	「豪華 (な)」「立派 (な)」	
3. 1 家族		
「優しい」「甘い」	「本当 (の) A」「実 (の) C」	
3. 2 友達		
「固い」「確か (な)」	「懐かしい」「久しぶり (の)」	「深い A」「親しい」

3.3 性格		
「良い A」「びったり (の)」	「明るい A」「朗らか (な) C」	「賑やか (な) A」「陽気 (な)」
「面白い A」「ユニーク (な)」	「暗い A」「陰気 (な) C」	「積極的 (な)」 「社交的 (な)」
「静か (な) A」「おとなしい」	「うるさい A」「賑やか (な) A」「やかましい C」	「うっとうしい」 「面倒くさい」
「温かい A」「優しい A」	「ソフト (な)」 「柔らかい」	「穏やか (な)」 「温和 (な) C」
「繊細 (な)」 「細やか (な) C」	「冷たい A」「ドライ (な)」	「さっぱり (した)」 「あっさり (した) C」
「卑怯 (な)」 「ずるい」	「強引 (な)」 「荒い」 「乱暴 (な)」 「激しい」 「荒っぽい C」	「わがまま (な)」 「勝手 (な)」
「ずうずうしい」 「厚かましい」	「生意気 (な)」 「擦れている C」	「真面目 (な) A」 「生真面目 (な) C」
「まっすぐ (な)」 「素直 (な)」	「一生懸命 (な) A」「熱心 (な)」 「夢中 [な] ⁴⁾ 」「一筋 (な) C」	「細かい」 「几帳面 (な)」 「神経質 (な)」
「きっちり (した)」 「きちっと (した)」	「適当 (な)」 「いい加減 (な)」	「雑 (な)」 「おおざっぱ (な)」
「荒い C」		
「素晴らしい A」「立派 (な)」	「賢い」 「賢明 (な) C」 「知的 (な) C」	「ばからしい」 「ばかばかしい」 「ナンセンス」
「平凡 (な)」 「普通 (の)」	「強い A」「たくましい」	「頼もしい」 「心強い」
「勇ましい C」「勇敢 (な) C」	「欲張り (な)」 「欲深い」	「あさましい C」「卑しい C」
「だらしない」 「ルーズ (な)」 「緩い」	「おおげさ (な) C」 「オーバー (な) C」	「上品 (な)」 「淑やか (な) C」
「幼稚 (な)」 「幼い」	「かわいい A」 「かわいらしい」	「のんき (な)」 「のんびり (した)」
3.4 感情		
「明るい A」「朗らか (な) C」	「さわやか (な)」 「すがすがしい C」	「さっぱり (した)」 「すっきり (した)」 「すっと (する)」
「快適 (な)」 「快い C」	「悲しい A」「寂しい A」	「たまらない」 「切ない」
「恥ずかしい」 「気まり悪い C」	「楽しい A」「面白い A」 「愉快 (な)」	「無礼 (な)」 「失礼 (な)」 「ぞんざい (な) C」
「ありがたい」 「申し訳ない」 「すまない C」	「好き (な) A」「大好き (な) A」 「恋しい」	「好ましい C」「望ましい C」
「嫌い (な) A」「いや (な) A」	「憎い」 「憎らしい」	
3.5 容姿		
「がっしり (とした)」 「大柄 (な)」	「きれい (な) A」「美しい」	「きれい (な) A」「清潔 (な)」

「清い C」「清らか (な) C」	「華やか (な)」「優美 (な) C」 「きらびやか (な) C」	「汚い A」「不潔 (な) C」
「みっともない」「見苦しい」 「醜い C」	「派手 (な)」「濃い」	「地味 (な)」「薄い」
3. 6 人づきあい		
「固い」「確か (な)」	「深い A」「親しい」	「不快 (な)」「嫌悪 C」
3. 7 喧嘩・トラブル		
「苦い」「辛い (ツライ)」	「汚い」「ずるい」「卑怯 (な)」	「うるさい A」「騒がしい」 「騒々しい」
3. 8 マナー・習慣		
「上品 (な)」「淑やか (な) C」	「みっともない」 「だらしない」	「失礼 (な)」「無礼 (な)」 「ぞんざい (な) C」
「伝統 (の)」「固有 (の) C」	「いろいろ (な) A」「さまざま (な) A」「多様 (な) C」	「違う A」「異なる」
「独自 (の) C」「特有 (の) C」 「固有 (の) C」「ユニーク (な) C」		
4. 1 学校 (小中高)		
「眠い A」「眠たい」	「楽しい A」「面白い A」 「愉快 (な)」	「うるさい A」「騒がしい」 「騒々しい」
「優しい A」「甘い」	「活発 (な)」「盛ん (な)」	「甘い A」「自由 (な) A」 「緩い」
4. 2 学校 (大学)		
「オープン (な)」 「開放的 (な) C」	「おしゃれ (な) A」 「モダン (な)」	
4. 3 成績		
「良い A」「素晴らしい A」 「優秀 (な)」「優れる C」	「普通 (の)」「平凡 (な)」	「悪い A」「だめ (な)」
4. 4 試験		
「悲しい A」「残念 (な) A」	「易しい A」「簡単 (な) A」 「たやすい C」	
4. 5 習い事		
「楽しい A」「面白い A」 「愉快 (な)」		
4. 6 調査・研究		
「大事 (な) A」「重要 (な)」 「有益 (な) C」	「正しい A」「適切 (な)」 「適当 (な)」	
5. 1 音楽		
「明るい A」「朗らか (な) C」	「華やか (な)」「華々しい C」	「強い A」「力強い」

「きれい (な) A」「美しい」	「賑やか (な) A」「騒々しい」	「静か (な) A」「落ち着いた」
「退屈 (な)」「単調 (な) C」	「遅い A」「のんびり (した)」「ゆったり (した) C」	「細かい」「繊細 (な)」
「人気 (の) A」「流行 (の)」	「上手 (な) A」「うまい A」「得意 (な) C」	「すばらしい A」「立派 (な)」「見事 (な) C」
「鮮やか (な)」「巧み (な) C」「巧妙 (な) C」		
5.2 絵画		
「明るい A」「朗らか (な) C」	「強い A」「力強い」	「きれい (な) A」「美しい」
「賑やか (な) A」「騒々しい」	「静か (な) A」「落ち着いた」	「退屈 (な)」「単調 (な) C」
「のんびり (した)」「ゆったり (した) C」	「細かい」「繊細 (な)」「精巧 (な) C」	「かわいい A」「かわいらしい」「愛らしい C」
「ナチュラル (な)」「自然 (な)」	「上手 (な) A」「うまい A」「得意 (な)」	「素晴らしい A」「立派 (な)」「有能 (な) C」「有望 (な) C」
「素晴らしい A」「見事 (な) C」	「鮮やか (な)」「巧み (な) C」「巧妙 (な) C」	「黒い A」「黒 (の) A」「真っ黒 (な)」
「白い A」「白 (の) A」「真っ白い」	「赤い A」「赤 (の) A」「真っ赤 (な)」	「青い A」「青 (の) A」「真っ青 (な)」「紺 (の)」「ブルー (の)」「藍 (の) C」
「黄色い A」「黄色 (の) A」	「茶色い A」「茶色 (の) A」「茶 (の)」「焦げ茶 (の)」	「灰色 (の)」「グレー (の)」
5.3 工芸		
「珍しい A」「貴重 (な)」		
5.4 写真		
「はっきり (とした) A」「鮮やか (な)」		
5.5 映画・演劇		
「上手 (な) A」「うまい A」「素晴らしい A」	「人気 (のある) A」「流行 (の)」	「楽しい A」「面白い A」「愉快 (な)」
5.6 芸道		
「大切 (な) A」「大事 (な) A」	「珍しい A」「貴重 (な)」	
5.7 芸術一般		
「明るい A」「朗らか (な) C」	「華やか (な)」「華々しい C」	「強い A」「力強い」
「きれい (な) A」「美しい」	「賑やか (な)」「騒々しい」	「静か (な) A」「落ち着いた」
「退屈 (な)」「単調 (な) C」	「のんびり (した)」「ゆったり (した) C」	「細かい」「繊細 (な)」「精巧 (な) C」
「かわいい A」「かわいらしい」「愛らしい C」	「ナチュラル (な)」「自然 (な)」	「上手 (な) A」「うまい A」「得意 (な)」

「素晴らしい A」「見事 (な) C」「鮮やか (な) C」	「巧み (な) C」「巧妙 (な) C」	
5. 8 趣味		
「生き生きとした」 「充実 (した)」		
5. 9 コレクション		
「高い A」「高価 (な)」	「珍しい A」「貴重 (な)」	「変わった A」「奇妙 (な)」
5. 10 日曜大工		
「上手 (な) A」「うまい A」 「得意 (な)」 「巧み C」	「素晴らしい A」「鮮やか (な)」 「見事 (な) C」	
5. 11 手芸		
「かわいい A」「かわいらしい」 「愛らしい C」		
5. 12 ギャンブル		
「うれしい A」「たのしい A」		
5. 13 遊び・ゲーム		
「上手 (な) A」「うまい A」 「得意 (な)」	「素晴らしい A」「鮮やか (な)」 「見事 (な) C」	「巧み (な) C」「巧妙 (な) C」
「おろそか (な) C」 「後回し (の) C」	「面白い A」「楽しい A」 「愉快 (な)」	
6. 1 宗教		
「厚い A」「深い A」	「絶対 (の)」「唯一 (の) C」	「豪華 (な)」「華やか (な)」 「きらびやか (な) C」
6. 2 祭り		
「珍しい A」「不思議 (な) A」 「変わった A」		
7. 1 歴史		
「怖い A」「恐ろしい」 「ひどい」	「新しい A」「進んだ」 「先端 (の) C」	「貴重 (な)」「重要 (な)」
「偉大 (な)」「偉い」		
8. 1 メディア		
「嘘 (の) A」「偽 (の)」 「でたらめ (な) C」	「誇張した C」「オーバー (な) C」 「おおげさ (な) C」	「正しい A」「確か (な)」 「正確 (な)」「確実 (な)」
「主観的 (な)」「偏った」		
8. 2 芸能界		
「上手 (な) A」「うまい A」 「得意 (な)」	「素晴らしい A」「鮮やか (な)」 「見事 (な) C」	「巧み (な) C」「巧妙 (な) C」

「突然 (の)」 「急 (な)」	「嘘 (の) A」 「偽 (の)」 「でたらめ (な) C」	「誇張した C」 「オーバー (な) C」 「おおげさ (な) C」
「人気 (の) A」 「もてる」		
9.1 通信		
「確か (な)」 「正確 (な)」 「確実 (な)」		
9.2 コンピュータ		
「難しい A」 「複雑 (な)」	「簡単 (な) A」 「易しい A」 「手軽 (な)」 「簡易 (の) C」	「危ない A」 「危険 (な)」
10.1 買い物・家計		
「高い A」 「高価 (な)」	「不安 (な)」 「心細い」	「難しい A」 「複雑 (な)」
「簡単 (な) A」 「易しい A」	「苦しい」 「辛い〈ツライ〉」	
10.2 労働		
「優秀 (な)」 「有能 (な) C」	「有望 (な) C」 「有力 (な) C」	「忙しい A」 「慌ただしい」 「多忙 (な) C」
「いい加減 (な)」 「おろそか (な) C」		
10.3 就職活動		
「簡単 (な) A」 「楽 (な)」		
10.4 ビジネス		
「忙しい A」 「慌ただしい」 「多忙 (な) C」	「新しい A」 「新鮮 (な)」	「変わった A」 「面白い A」
「良い A」 「素晴らしい A」	「優秀 (な) C」 「優れる C」	「普通 (の)」 「平凡 (な)」
「悪い A」 「だめ (な)」		
10.5 株		
「危ない A」 「危険 (な)」	「心配 (な) A」 「不安 (な)」	
10.6 経済・財政・金融		
なし		
10.7 国際経済・金融		
なし		
10.8 税		
「大変 (な) A」 「きつい」 「苦しい」 「辛い〈ツライ〉」	「公正 (な)」 「公平 (な)」	
11.1 工業一般		
「簡単 (な) A」 「単純 (な)」 「簡素 (な) C」		

11.2 自動車産業		
「きれい (な) A」「美しい」	「おしゃれ (な) A」「すてき (な) A」「モダン (な)」	「地味 (な)」「シンプル (な)」「簡素 (な) C」
「派手 (な)」「華やか (な)」	「快適 (な)」「心地良い C」	「丈夫 (な)」「頑丈 (な) C」
「うるさい A」「騒々しい」「やかましい C」		
11.3 重工業		
「重い A」「重たい A」		
11.4 軽工業・機械工業		
「精密 (な) C」「精巧 (な) C」	「大切 (な) A」「貴重 (な)」	
11.5 建設・土木		
「危ない A」「危険 (な)」	「無駄 (な)」「不要 (な)」	
11.6 エネルギー		
「危ない A」「危険 (な)」	「豊富 (な)」「豊か (な)」	「天然 (の)」「自然 (の)」
「大切 (な) A」「貴重 (な)」		
11.7 農林業		
「安心 (な)」「安全 (な)」	「大切 (な) A」「貴重 (な)」	
11.8 水産業		
「珍しい A」「貴重 (な)」	「豊富 (な)」「豊か (な)」	「安心 (な)」「安全 (な)」
12.1 事件・事故		
「怖い」「恐ろしい」「物騒 (な) C」	「大きい A」「重大 (な)」	「迅速 (な) C」「素早い C」
「怪しい」「不審 (な) C」	「煙い」「煙たい C」	「ひどい A」「無茶 (な)」「目茶目茶 (な)」「無茶苦茶 (な)」
12.2 差別		
「平等 (の)」「公平 (な)」		
12.3 少子高齢化		
「急 (な)」「急激 (な) C」	「ありがたい」「幸い C」	
12.4 社会保障・福祉		
「金持ち (の) A」「豊か (な)」	「貧しい」「貧乏 (な)」	「重い A」「重度 (の) C」
13.1 政治		
「公正 (な)」「公平 (な)」	「素晴らしい A」「立派 (な)」	「清潔 (な)」「清らか (な) C」
「腐った A」「汚い」「ずるい」		
13.2 法律		
「甘い A」「緩い」	「難しい A」「複雑 (な)」	「簡単 (な) A」「易しい A」

13. 3 社会運動		
なし		
13. 4 選挙		
「有利 (な)」 「優勢 (な) C」		
13. 5 外交		
「有利 (な)」 「優勢 (な) C」		
13. 6 戦争		
「怖い A」 「恐ろしい」 「おっかない C」	「大きな A」 「巨大 (な)」 「大規模 (な)」	「ひどい」 「悲惨 (な) C」
「めちやくちゃ (な)」 「無茶苦茶 (な)」	「冷酷 (な) C」 「残酷 (な) C」	「平和 (な)」 「穏やか (な)」
13. 7 会議		
「大切 (な) A」 「重要 (な)」	「無駄 (な)」 「不要 (な)」	「スムーズ (な)」 「円滑 (な) C」
「穏やか (な)」 「和やか (な) C」		
14. 1 人体		
「かゆい」 「くすぐったい」		
14. 2 医療		
「重い A」 「深刻 (な)」	「危ない A」 「危険 (な)」	「大丈夫 (な) A」 「平気 (な)」
「青白い」 「真っ青 (な)」	「辛い <ツライ>」 「苦しい」	「生まれつき (の)」 「先天的 (な) C」 「遺伝 (による) C」
「速い A」 「迅速 (な) C」 「速やか (な) C」 「素早い C」	「遅い A」 「手遅れ (の) C」	
14. 3 美容・健康		
「厚い A」 「派手 (な)」	「地味 (な)」 「薄い」	「きれい (な) A」 「美しい」
「元気 (な) A」 「強い A」 「丈夫 (な)」	「たくましい」 「がっしり」 「がちり」 「頑丈 (な) C」	
14. 4 動物		
「利口 (な)」 「賢い」	「かわいい A」 「かわいらしい」	
14. 5 植物		
「赤い A」 「真っ赤 (な)」	「簡単 (な) A」 「易しい A」	
15. 1 気象		
「急 (な)」 「突然 (の)」 「いきなり (の)」	「ひどい」 「激しい」 「強烈 (な)」 「猛烈 (な) C」	「暑い A」 「蒸し暑い」

「暖かい A」「暖か(な)」 「温暖(な)」	「さわやか(な)」「快適[な] ⁵⁾ 「すがすがしい C」	「うっとうしい」 「憂鬱 [な] ⁶⁾
「暗い A」「真っ暗(な)」 「薄暗い C」	「心配(な) A」「怪しい」	
15.2 自然・地勢		
「険しい」「急(な)」	「緩やか(な) C」 「なだらか(な) C」	「静か(な) A」「穏やか(な)」 「緩やか(な) C」
「激しい」「荒い」	「きれい(な) A」「美しい」	「清い C」「清らか(な) C」
「広い A」「大きな A」	「はっきり(とした)」「くっ きり(とした)」「鮮やか (な)」	「ぼんやり(とした)」 「微か(な)」
15.3 災害		
「安全(な)」「安心(な)」	「危ない A」「危険(な)」	「心配(な) A」「不安(な)」
「迅速(な) C」「素早い C」 「早急(な) C」	「簡単(な) A」「手軽(な)」 「簡易(の) C」	「大きい A」「ひどい」「激 しい」「強烈(な)」「猛烈(な) C」
「無茶苦茶(な)」「無茶(な) C」「壊滅的(な) C」		
15.4 環境問題		
「珍しい A」「貴重(な)」 「希少(な) C」		
15.5 宇宙		
「不思議(な) A」「謎(の)」 「未知(の) C」		
16.1 算数・数学		
「イコール(の)」「等しい C」		
16.2 サイエンス		
なし		
16.3 テクノロジー		
「膨大(な)」「莫大(な)」	「簡単(な) A」「易しい A」 「手軽(な)」「簡易(の) C」	「危ない A」「危険(な)」

4. 終わりに

本稿では、『実践日本語教育スタンダード』に収録されている語彙とその収録方法に着目し、日本語学習者が使い分けに困るとされる形容詞の類義語リストを作成した。今後、このリストの中の類義語が少しずつでも分析されるなどして、日本語教育の現場に役立つのであれば幸いである。

注

- 1) 「特融 (の)」となっていたが、筆者の判断で「特有 (の)」とした。
- 2) 筆者の判断で不自然だと考えた場合に付した。
- 3) 「感激」となっていたが、筆者の判断で「感激 [の]」とした。
- 4) 「夢中」となっていたが、筆者の判断で「夢中 [な]」とした。
- 5) 「快適」となっていたが、筆者の判断で「快適 [な]」とした。
- 6) 「憂鬱」となっていたが、筆者の判断で「憂鬱 [な]」とした。

《参考文献》

- 水上由美 (2013) 『『実践日本語教育スタンダード』を利用した類義語リスト (動詞編) の作成』『実践国文学』84
- 山内博之 (編) (2013) 『実践日本語教育スタンダード』ひつじ書房
- 山内博之 (2013) 「日本語教師の能力を高めるための類似表現研究」『日本語／日本語教育研究』4, 日本語／日本語教育研究会, ココ出版

[付記] 査読委員の先生方から、丁寧なご助言や有益なコメントを頂戴いたしましたことを、記して感謝申し上げます。

(みずかみ ゆみ・中国帰国者支援・交流センター常勤日本語講師)